

高田 “こころ” の 優しき通信

H26年 特別号

発行：医療法人高田西城会高田西城病院
「高田“こころ”の優しき通信」編集委員会
〒943-0834 新潟県上越市西城町 2-8-30
TEL 025-523-2139 FAX 025-522-7035
<http://www.nishishiro-hp.or.jp/>

みんながつながる連携ノート

にっこり手帳

ご存知ですか？

『認知症の人と家族を含むすべての人』が地域で安心して暮らしていくことを支援するために、どのような連携ノートがいいか、ご家族、医師、歯科医師、薬剤師、精神保健福祉士をはじめとする医療関係者、行政・地域包括支援センター、ケアマネジャーなどの介護・福祉関係者等で話し合いを重ねました。そして、この手帳をきっかけに、ご本人・支援者みんながにっこり笑顔になれるように、「にっこり手帳」と名付け、平成25年春より運用を開始しました。

運用が始まり、手帳を使い始めたご家族から「支援者と医療や介護の相談がしやすくなった」、「かかりつけ医や介護スタッフからこの手帳にコメントをもらうことで繋がっていることを実感した」、「手帳を活用し、家族の精神的安定につながった」という率直な感想が寄せられました。また、スタッフからも「手帳をきっかけに共通理解、関係づくりがスムーズにできた」、「ご家族、医療、介護の連絡票として活用中」など現場の声をいただいています。

ぜひ、この「にっこり手帳」を活用してみませんか。

当院スタッフ、認知症疾患医療センターまで、どうぞお気軽に声をお掛けください。



Q1. 「にっこり手帳」ってなんですか？

この手帳は、利用者ご本人・ご家族・医療・介護・福祉などみんながつながる連携ノートです。

ご本人・ご家族が主体となって活用するところが特徴です。

内容は、1「私」・家族の紹介、2「私」のくらしの紹介、3医療の情報、4介護の情報に整理されています。ご本人、家族、支援者みんなが情報共有することで、同じ方向で継続的に支援することができます。連絡票を活用することで、ご本人・ご家族はもちろんのこと、医療・介護スタッフも連絡・報告・相談がしやすくなるでしょう。

また支援者がご本人の人となりを知ることで、今まで以上に本人の想いに寄り添うケア、より質の高いケアの提供につながります。

そして、ものわすれチェックもできるので、認知症の早期発見につながり、その後の経過をみていくこともできます。

Q2. 「にっこり手帳」を使いたいのですが・・・？

上越市、妙高市、糸魚川市にお住まいで、希望された方ならどなたでもご利用いただけます。

将来に備えて活用を始めた方、ご夫婦で活用を始めた方、介護サービスを使っている方、医療機関を複数受診されている方などたくさんの方に活用していただいております。

Q3. 「にっこり手帳」をどう活用したらいいのでしょうか？

医療機関を受診される時や、デイサービスやショートステイなどの介護サービスを利用される時、この手帳をお出してください。最近の様子を伝えたり（連絡票）、この手帳を使いながら相談したり、また支援者とのコミュニケーションツールとしてもご利用いただければ幸いです。

Q4. 書くことが苦手なのですが、大丈夫でしょうか・・・？

ご本人、ご家族で自由にご記入いただいてよい手帳ですが、もし書くことが苦手な場合は、ケアマネジャー訪問時や、医療・介護スタッフとの相談時に一緒に記入していただくことができます。

内容は一気に書き上げるのではなく、いつでもページを加えたり省いたりしながら作り上げていくとよいでしょう。

Q5. 「にっこり手帳」はどこでもらえるのですか？

お近くの地域包括支援センター、医療機関、認知症疾患医療センターで受け取ることができます。現在、無料で提供しています。

Q6. 「にっこり手帳」の連絡票や追加紙がほしいのですが・・・？

連絡票が足りなくなったり、追加紙が必要な場合は、お近くの地域包括支援センターか、認知症疾患医療センターにお声掛けください。

また、ホームページからのダウンロードも可能です。

(この手帳全ページのダウンロードはできません。)

にっこり手帳プロジェクト委員会事務局

担当者： 森橋 恵子

責任者： 川室 優

